

登録コード	E0000912	開講年度	2026				
授業科目	コンピュータ利用教育M				担当教員	高橋 史 他	
英文授業名	Educational Computing (M)				副担当	三和 秀平・島田 英昭	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・3時限	対象学生	2年生
講義室	教育学びセンター201		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				コンピュータ利用における最新の倫理的議論に習熟し、前提や問題点を問うことができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				コンピュータ利用の最新事情と具体的なツールの使い方に習熟することで、教育の専門家として倫理的かつ効果的な実践ができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本科目は、心理支援教育コース2年生を対象として、教育におけるICT活用や情報処理に必要なICT機器・主要アプリケーションの操作、および活用方法を身につける。						
(5)授業計画	第1回：コンピュータ利用教育の概要（オンデマンド講義・演習） 第2回：生成AIの基礎と対話型AIの活用（オンデマンド講義・演習） 第3回：自分専用AIの作成と業務効率化（オンデマンド講義・演習） 第4回：信頼できる情報の分析と論理構成（オンデマンド講義・演習） 第5回：マルチモーダル生成と創造的アウトプット（オンデマンド講義・演習） 第6回：文書生成アプリの自己学習 第7回：表計算アプリの自己学習 第8回：スライド作成アプリの自己学習 第9回：生成AIを使った教育サービス 第10回：生成AIにまつわる事故・事件・訴訟 第11回：AI生成物の監査・確認 第12回：データ解析をはじめの前に 第13回：記述統計によるデータ解析 第14回：グラフ化によるデータ解析						
(6)成績評価の方法	演習・実習課題の遂行状況（50%）、および、提出課題（50%）により評価する。						
(7)成績評価の基準	・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。 秀(S)：授業の達成目標の水準から見て卓越している（情報モラルを十分理解し、ICTを適切にかつ効果的に活用できる） 優(A)：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（情報モラルを十分理解し、ICTを適切に活用できる） 良(B)：授業の達成目標の水準よりやや上にある（情報モラルを理解し、ICTを活用できる） 可(C)：授業の達成目標の水準にある（情報モラルを理解し、ICTを最低限必要な水準で活用できる） 不可(D)：授業の達成目標の水準よりやや下にある（情報モラルの理解あるいはICT活用が不十分）						
(8)事前事後学習の内容	・授業内容に関連する語句について、書籍やネットなどで復習し、理解を深める。 ・授業内容に関連する内容について、事前に書籍やネットなどで事前に理解を深め、自分の意見を整理しておく。						
(9)履修上の注意	・学校教育教員養成課程心理支援教育コースの学生に限る。 ・各回の授業の前後にGoogle ClassroomやGoogle Chatにアクセスして事前事後学習に努めること。 ・各回の授業後にGoogle ClassroomやGoogle Chatで意見交換をすること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	高橋史研究室（東校舎4階 E406） オフィスアワー：木曜日13:00～14:30 e-mail: f_taka@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	特になし						
【参考文献】	特になし						